

さんきちさま

平成二十九年 元旦
 創刊号
 発行所
 白根三吉神社
 福島県伊達市梁川町白根字中倉82
 電話(024)577-1738
 F A X (024)577-2134



『新たな時代の幕開け』

宮司 古 積義 永



新春を寿ぎ、先ずもつて皇室の弥栄と崇敬者の皆さま方のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

念願でありました白根三吉神社報創刊号の発行に寄せて、新宮司と致しまして一言ご挨拶申し上げます。

神社の跡取りとして生まれ、継ぐ事を決意致しましてから、塩竈神社、志波彦神社、金比羅神社、赤城神社…と、先輩方のご指導を仰ぎながら、修練修行を重ねて参りました。白根三吉神社の社殿を造りたいと、平成五年に帰郷致しましてから今日まで、苦難の連続で心が折れてしまう事が何度もありました。そんな中、平成八年に社団法人だて青年会議所に入会、活動を共にし、心から信頼できる友が出来、この地で頑張っていく勇氣をもらいました。平成十七年四月には神社の崇敬青年会が結成され、結成記念に鳥居、さらには新社殿に立派な社額を奉納していただきました。また、敬神婦人会には、月次祭に於いて、教育に関する勅語奉読、神社の清掃奉仕などを賜わり、ご神威の発揚がなされております。そしてこの度、新社殿の竣工を迎えられましたのは、神社整備事業にご理解ご協力下さいました、株式会社 渡辺工務店様を始め、関係されました皆さま方のお陰と、心より感謝申し上げます。

これからも皆さまの心の拠り所となる神社を目指して研鑽を積み歩んで参ります。しかし、残念ながら、この度の事業では、御本殿、社務所、境内整備の完成までには至りませんでした。今後ともご理解をいただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おほぞらに そびえて見ゆるたかねにも

登ればのぼる道はありけり

明治天皇御製

新たな時代の幕開けです！新しい社殿にて神様のお力をいただきながら、それぞれ飛躍の年となるように、皆で徳を積んで参りましょう。

平成二十八年 霜月みずのと巳 夕刻斎行

白根三吉神社遷座祭

平成二十八年
十一月七日夕刻、
百八十六年間、三吉
さまをお祀りして
おりました、旧社殿
から檜の香り満ち溢れ
ます新社殿へとお遷
りいたたく遷座祭を
静寂な暗闇の中、執
り行いました。

奉仕者、参列者が
手水を済ませて身を
清め、旧社殿に整
列、崇敬青年会の協
力のもと、神様のお
通りになる道には布
単（ふたん）という
白布を敷いて、提灯
の明かりだけを頼り
に、雅楽の音色に導
かれながら、肅々と
斎行されました。



白根三吉神社遷座祭式次第・祭員諸役

時刻齋主以下祭員参進、所定の座に着く（是より先
手水の儀あり）

典儀開式を宣す
先ず、修祓

次に齋主一拝（諸員之に倣ふ）

次に齋主祝詞を奏す（此の間諸員警折）

次に齋主玉串を奉りて拝礼 祭員列拝（自座）

次に宮司・参列者玉串を奉りて拝礼（此の間奏樂）

次に齋主、御霊代を所役に授く（召立の儀あり）

次に遷御 此の間奏樂 警蹕

次に入御 此の間奏樂 警蹕

次に所役、御霊代を齋主に授く

次に神饌を供す（此の間奏樂）

次に齋主祝詞を奏す（此の間諸員警折）

次に国歌斉唱（二回）

次に齋主玉串を奉りて拝礼 祭員列拝（自座）

次に宮司・参列者玉串を奉りて拝礼（此の間奏樂）

次に神饌を撤す（此の間奏樂）

次に齋主一拝（諸員之に倣ふ）

次に齋主挨拶

次に齋主以下祭員及び奉仕者退下（此の間奏樂）

祭員諸役（敬称略）

齋主 禰 宜 祝詞奏上 玉串拝礼 御霊代授受
（勿拍子）

祭員 富 田 祓主 陪膳 警蹕 絹垣

松 浦 大 麻 膳部 警蹕 絹垣 案後取

阿 部 一の手長 警蹕 絹垣 玉串後取

権 禰 宜 典儀 警蹕 絹垣

伶人 県北雅楽会

玉串奉奠者名

白根三吉神社宮司

伊達郡支部長 吉田 文芳様

（株）渡辺工務店 代表取締役、渡邊 武様

安藤 津芳様

千葉 喜助様 渡邊 文伸様

青年会会長 菅野 與志昭様 会員一同（自座列拝）

医師代表 菅野 晃弘様

菅野 明子様

白根三吉神社 遷座祭召し立ての事

絹垣 警蹕 富田 好弘

絹垣 警蹕 松浦 知弘

絹垣 警蹕 阿部 陽一郎

前導 警蹕 古積 可奈子

前導（御塩） 菅野 與志昭

前導提灯 加藤 聖司

左布単 遠藤 一也

右布単 遠藤 智晴

笏 鈴木 勝文

三吉大神御霊代 鈴木 保則

中王山大神御霊代 渡邊 浩二

保食大神御霊代 曳地 正勝

大國主大神御霊代 利根川 靖幸

少彦名大神御霊代 菅野 武久

左提灯 菅野 晃弘

右提灯 菅野 明子

後衛 末永 泰仁

記録 馬場 裕隆

記録 古積 義文

道楽（鳳笙） 沼田 未知子

（篳篥） 小松 中

（龍笛） 丹治 久仁

宮司退任挨拶

古積 義久



新年明けましておめでとうございます
崇敬者の皆さまにおかれましては、清々
しく新珠の年を迎えられましたこと、心
よりお祝い申し上げます。

昨年十一月七日、新社殿に遷座をいたしました。わ
たくしの六十二年間の神明奉仕の中で最も感慨深い日と
なりました。これもひとえに、この事業にご尽力賜りま
した、株式会社 渡辺工務店様を始め、ご協力いただき
ました皆さま方のお陰であると、感謝の気持ちでいっ
ぱいでございます。

秋田県の太平山三吉神社からの御分霊を賜わり、白根
の地に鎮座致しましてから百八十六年、古積家の護り神
様から次第に崇敬者が増え、念願でありました新社殿の
完成まで、大変長い道のりでありましたが、代々の宮司
から受け継いで参りましたことを、わたくし自身も精一
杯、息子や孫に伝えてきたつもりでございます。

新社殿の建築は、東日本大震災からの復興のシンボル
であるという思いで、皆が一丸となって進めて参りまし
た。この事業を見届けた今、わたくしは宮司の職を辞し、
息子の義永に任せることに致しました。

とは申しませんが、建築の方もまだまだ道半ばですの
で、これからもご協力いただかなければならない事業が
たくさんございます。

宮司が代わりましても皆さま方の一層のご協力を
賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

白根三吉神社がますます隆昌し、皆さま方のご多幸の
お力になることをお約束し、宮司退任の挨拶とさせていただきます。

職員紹介



権禰宜 古積 亜矢子

皆さまのお力添えのもと、ようやく神様に新社殿へとお遷りいただくことができました。神職として二十年、雅楽の演奏、指導をしながら全国各地を廻り、神前に奉納して参りました。また、東京易占学院で習得致しました手相鑑定も行っております。これからも家族一丸となってお宮をまもって参りますので、ご協力よろしくお願い致します。



権禰宜 古積 可奈子

現在、國學院大學文学部外国語文化学科に通っております。大学一年の夏に神職資格を習得し、東京易占学院にて気学を勉強中です。父の背中を追って、神社の跡継ぎとして、日本の素晴らしい伝統や文化を世界中に広めていかれるよう修行を重ねて参りますので、ご指導よろしくお願い致します。



*** 御朱印のご案内 ***

平成二十九年 元旦より御朱印が新しくなります。是非お受け下さい。

◆遷座奉祝記念手拭いが出来ました！

白根三吉神社初めての事業であります「平成の御造営」の竣工を記念致しまして、手拭いを製作致しました。

当神社に伝わる「占い」にも用いられます「八卦」をモチーフに、紺と赤の2色がございます。

日本人が昔から愛用していた手拭いを、皆さまも是非お使いください。初穂料 一本一、〇〇〇円



◆三吉ブレンドコーヒーの頒布開始！

一杯のコーヒーはインスピレーションを与え、一杯のブランドは苦悩を取り除く

ベーターベン

当神社でお祓いしたコーヒーのお頒ちを始めました。酸味を抑え、スッキリとした苦味を味わえる、和菓子にも合うコーヒーです。召し上がった後には頭が冴え、気持ち晴れるよう、お祈りしております。

初穂料 一袋 八〇〇円



『年間の祭典行事』

- 一月一日 …… 歳旦祭
- 二月三日 …… 節分祭（星祭り）
- 二月十七日 …… 祈年祭
- 三月三十日（旧三月三日） …… 例祭
- 六月三十日 …… 夏越大祓式
- 八月十五日 …… 英霊感謝祭
- 九月九日 …… 重陽祭（病氣平癒祭）
- 十一月七日 …… 遷座記念祭
- 十一月二十三日 …… 新嘗祭
- 十二月二十三日 …… 天長節
- 十二月三十日 …… 大祓式

